

＜対策のポイント＞

世界的な人口増加に対応した食料供給や環境保護等の社会課題の解決や、多様な食の需要に対応するため、食品事業者等による、**フードテック等を活用したビジネスモデルの実証を支援**します。また、これらの実証の**成果の横展開を図るための情報発信等の取組を支援**します。

＜事業目標＞

フードテック等を活用した新たな商品・サービスの創出

＜事業の内容＞

1. **ビジネスモデル実証事業の支援**

国内の食品事業者、流通事業者、製造事業者、情報関連事業者、大学等の研究機関、食育・栄養関係団体等による**フードテック等を活用した新たな商品・サービスを生み出すビジネスモデルを実証する取組を支援**します。

- 【例1】 増大するタンパク質需要と地球環境への負荷低減に対応するため、新たなタンパク質源を活用した食品（※）を開発、製造・販売。
 ※プラントベースフード、昆虫を活用した食品、細胞性食品、微生物を活用した食品 等
- 【例2】 資材調達における脱輸入、脱炭素、環境負荷低減のため、未利用資源を活用した飼料・肥料（※）を開発、製造・販売。
 ※食品残渣等の再利用や、昆虫、藻類を活用した飼料・肥料 等
- 【例3】 健康な食生活の実現や食に求めるニーズの多様化に対応するため、機能性や栄養素等に着眼した食品やサービス（※）を開発、製造・販売。
 ※ゲノム編集育種技術等を活用した機能性成分含有量の多い作物や、各個人に最適な食事を提案するサービス、食を楽しめる介護食 等
- 【例4】 人口減少・高齢化の進展に伴う人材確保難に対応するため、食品産業の生産性向上を実現する機械やサービス（※）を開発、製造・販売。
 ※AI、ロボット等による食品製造業の自動化 等

2. **横展開に向けた情報発信等**

1の取組により実証された内容の横展開を図るため、実証成果をとりまとめたウェブページ等の成果物の作成、セミナーの開催等による**情報発信等の取組を支援**します。

＜事業の流れ＞



【お問い合わせ先】 大臣官房新事業・食品産業部新事業・国際グループ (03-6744-2352)

＜事業イメージ＞

技術

世界的な人口増加に対応した食料供給や環境保護等の社会課題の解決や、多様な食の需要に対応する食分野の新しい技術



発芽大豆素材を用いたタコス



鶏由来の細胞性食品



昆虫飼料と有機肥料ペレット

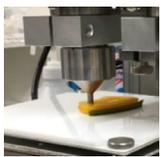
ビジネス実証



ゲノム編集育種技術を活用した機能性成分含有量が多いトマト



AI食によるPDCAサイクル



3Dフードプリンターを用いた介護食

事業戦略検討、試作品製造、マーケティングリサーチ、商品デザイン、テストマーケティング、販路確保、原材料確保



結果

フードテックを活用した新事業の創出

- ・環境負荷の低減など、国内外のニーズに対応
- ・食料安全保障に貢献